

第3期奈良県がん対策推進計画実施評価と4期計画への課題（案）

	取組の成果	取組の課題	4期計画策定に係る検討事項	
			課題	指標等の見直し
がん予防（健康的な生活習慣）	<ul style="list-style-type: none"> ●運動習慣を有する人の割合が増加 ※R1年度より、やさしおベジ増しプロジェクト推進事業が開始	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症の影響 <ul style="list-style-type: none"> ・減塩対策に関するイベント等の開催機会の減少 ・減塩対策に取り組む登録店舗数の減少 ・評価指標となる調査が実施されていない ●男性の適正体重（BMI）が減少 	<ul style="list-style-type: none"> ●感染対策を考慮した減塩対策 ●市町村における減塩対策の推進 ●生活習慣の改善（適正飲酒、適正体重についての啓発、動画やSNSの活用） ●幼少期からの食生活等の健康づくりの取組ができる環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・最終目標に対する評価指標の見直し ・適正飲酒、身体活動、適正体重に関する取組評価指標の検討 ●（周知・啓発・健康教育を行う市町村数等）
がん予防（感染症予防）	<ul style="list-style-type: none"> ●肝炎ウイルス検査の個別勧奨市町村数が増加し、受診者数も着実に増加 ※H31.3奈良県HTLV-1検査母子感染予防対策支援マニュアルの改正	<ul style="list-style-type: none"> ●HPVワクチン接種について積極的勧奨の差し控えあり（R4.4から個別勧奨再開） ●ヘリコバクターピロリ感染についての普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●肝炎ウイルス検査受診のさらなる啓発、勧奨 ●HPVワクチン接種の個別勧奨再開による体制、啓発の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・B型肝炎予防接種率に代わる指標の検討 ・HTLV-1、HPV等、個別施策の評価指標について検討
がんの早期発見	<ul style="list-style-type: none"> ●がん検診受診率は上昇傾向 ●がん検診における早期がんの割合は、肺がんと子宮がんを除き増加 ●精検未受診率は、肺がんを除き低下 ●精検未把握率は、乳がん・子宮がんを除き低下 ●市町村がん検診チェックリスト実施率が80%以上の市町村割合が増加 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症の影響 <ul style="list-style-type: none"> ・受診控えによる受診率の低下 ・市町村における検診規模の縮小 ・がん検診従事者研修会の未開催 ●がん予防推進員の活動の縮小 ●がん種による重点的取組み方法の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・肺がん・子宮がん検診での早期発見割合が減少 ・肺がんの精検未受診率が上昇 ・乳がん・子宮がんの精検未把握率が上昇 	<ul style="list-style-type: none"> ●感染対策を考慮した検診体制 ●啓発イベントや精度管理研修の方法の検討（オンライン・e-learning） ●がん検診受診率向上へのさらなる取組み（がん予防推進員の活動支援） ●県による市町村支援 ●働き盛り世代が受診しやすい検診体制の整備、受診期間の拡大、職域との連携 ●精検未受診者への受診徹底への取組み ●がん種による検診精度管理の重点的取組み方法の検討（結果を受けた各医療機関の改善に向けたアドバイザーや研修機会の確保・拡充） ●市町村の状況に応じたコール・リコール実施体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・国の次期がん対策基本計画に基づいた目標値の検討 ・石綿暴露者の健康管理の充実に関する評価指標の見直し ●指針に基づくがん検診の実施市町村数を精度管理の指標に追加